

続 終末期の苦痛がなくならない時、何が選択できるのか？

苦痛緩和のための鎮静(セデーション)

森田 達也 ● 著

B5・頁248
定価:3,410円(本体3,100円+税10%) 医学書院
ISBN978-4-260-04972-6

評者 田村 恵子

大阪歯大医療イノベーション研究推進機構
事業化研究推進センター

緩和ケア臨床において「鎮静」は、終末期において苦痛が緩和されない時の最後の手段 (last resort) としてガイドラインに基づいて実践されているが、医療者にとって正解が一つではなく常に悩みつつの選択である。一方、世界では死の過程をコントロールする権利を求める市民の声が高まりをみせ、その象徴的な出来事としてフランスでは治療の中止と同時に「持続的深い鎮静を死亡まで行うこと」が法律(クレス・レオネッティ法、2016年制定)に明記された。これを機に、世界では鎮静の位置付けを見直そうとの議論が広がっている。本書は、鎮静に関する新しい知見をふんだんに取り入れて、鎮静の背景に横たわる問題を多方面から解説し、読者の理解が進むよう整理されている。著者は聖隷三方原病院の森田達也先生、緩和ケア研究の第一人者である。

まずは50を超える文献の系統的レビューに基づき、現時点での、しかも向こう10年間くらいの鎮静についての議論ができる知見が解説されていることに驚かされた。しかも、なかなか一人では理解が困難と思われる論文について、どう読み解くかが、ポイントを押さえた図・表と共にわかりやすく述べられている。著者ならではの痒いところに手が届く解説とともに一語一語丁寧に文字を追って行けば、「なるほど、そういうことか」と納得できるだろう。

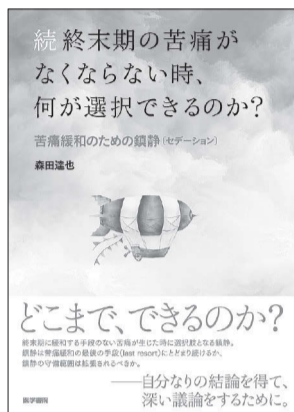
本書は、「最後の手段」としての鎮静から「患者の権利」としての鎮静へとその守備範囲が拡張しつつあるフランスと世界の動き、イギリス・イタリ

ア・ドイツそして日本との鎮静の概念の違い、安楽死・自殺ほう助の合法化の世界的動きがどう鎮静に影響しているのか、といった視角を次々に提示している。まず、鎮静に対する議論を深めるには、緩和できない苦痛があることを直視することが必要である。しかし読み進めるうちに、安楽死・自殺ほう助の合法化の動きは、患者の苦痛が緩和されないからだけではなく、自己決定や尊厳を求める世論に端を発しているという根幹が置き去りにされたままに議論されがちであることに気付かされた。

さらに本書は、鎮静は生命予後を短縮するのか、という疑問に関する知見や他の治療と同様に目に見える薬の使い方によって鎮静を定義するという考え方を詳しく解説している。加えて、精神的苦痛に対する鎮静の是非について、医学だけではなく倫理学や法学などの観点からも述べている。最後にまとめとして、「終末期の苦痛がなくならない時、どこまでできるのか(患者の状態に応じて、鎮静薬の投与を選択肢に入れるかどうか)」についての著者の解が示されている。特に「国内でとりうる最大限の解」については、将来のチャレンジとしてこれからの議論の深まりが期待される。

鎮静についての議論をまとめるには、さまざまな医学領域、および広範な学問体系の知識を統合する必要がある、これができるのは森田先生しかいないだろう。本書が鎮静という医学分野の知的躍動を感じさせる一冊であることは間違いない。この熱量に素直に誘われてみることを皆さまにお薦めしたい。

変わりつつある「鎮静」の今を知る



医療者が知っておきたいがんのキホン知識を、マンガ家ドクターがわかりやすく解説！

医学書院

マンガで学ぶ！ がんのキホン

近藤 慎太郎

「がんはどうして生じるの?」「がんの定義って?」「がんは遺伝する?」「標準治療よりも「スゴい治療」があるの?」「がん検診ってどれくらい意味があるの?」——患者さんからこれらの質問を受けたときに、皆さんは自信をもって説明できるでしょうか? 私たちにとって最も身近な病気の1つであるがん。医療者が知っておきたいその基本知識を60のトピックスにまとめ、マンガや図表とともにことんわかりやすく学べる1冊!



- 目次
- PART1 がんのデータを見る
 - PART2 がんの原因を知る
 - PART3 がんを見つける
 - PART4 がんを治療する
 - PART5 がんの終末期に取り組む

書籍の詳細はこちら



●A5 2023年 頁240 定価2,420円(本体2,200円+税10%) [ISBN978-4-260-05110-1]

他者理解を促すためのブックガイド

小川 公代
上智大学外国語学部
英語学科 教授

ケアを行うに当たって、自身とは異なる内面世界を生きる患者=他者を少しでも理解しようと努めることは、大切なアティチュードです。とはいえ、他者を理解することも、そうした姿勢を維持することも、なかなか難しいのが実際のところ。本連載で紹介する書籍や物語作品は、他者理解に臨む上でヒントを与えてくれるはず。気になる作品を見つけたら、ぜひ手に取ってみてください。

第8回 中井久夫のヒュプリス撃退法

英作家のカズオ・イシグロがインタビューで「地域を超える『横の旅行』ではなく、同じ通りに住んでいる人がどういう人かをもっと深く知る『縦の旅行』が私たちに必要なのではないか」と語っていた¹⁾。確かに、世界を飛び回っているエリートたちは、「横」のつながりがある人たちであり、同じ価値観を共有していることもあるのかもしれないが、物理的距離に近い人が必ずしも理解し合えるわけではないというのは真理をついている。映画『サン・ジャックへの道』は、普通の生活を送ってれば知り合うことさえない9人が、数か月生活を共にすることによって「縦」の結びつきを深めていく物語であるが、そのプロセスで重要な役割を果たしているのが「S親和者」である。これは精神科医の中井久夫が用いた言葉で、斎藤環によれば、「大破局の兆候を感知できる」ような敏感な人たちを指す。S親和者とは、「過去のデータベースに依存」し、予見性に基づいてプランを立てる真面目で秩序を重んじるタイプ(現代社会における多数派)とは対照的に、「つねに現在に先立つ者」である。彼らは統合失調症的な気質の人たちであり、不穏な時代に必要「問題設定者」でもある。そして重要なのは、彼らが「個人的利害を超越して社会を担う気概を示」していることであろう²⁾。

『サン・ジャックへの道』では、S親和者は主人公の三兄弟——ピエール、クララ、クロード——ではない。彼らは母親の遺産を相続するために、不承不承その条件である聖地サンティアゴまでの1500kmの道のりを歩くのだが、社長であるピエールと高校教員のクララは人を見下すところがあり、他者の気持ちに鈍感だ。彼らはS親和者とは正反対のタイプで、几帳面さや勤勉さだけを取りえとし、人と競合して、マウントを取ることに躍起になっている。クロードは勤勉ではないが、アルコール依存症で無気力であり、S親和者であるとは言い難い。

この三兄弟は、ガイドのガイ、物静かな女性マチルド、女子高校生のエルザとカミーユ、そしてアラブ系少年ラムジと彼の従兄弟サイドと共にスペインまでの巡礼の旅をしながら、人種、階級、年齢などによって生じる偏見や差別意識を克服していく。この集団では、一見足を引っ張っているように見える失読症の少年ラムジこそがS親和者と呼ぶにふさわしい性質を備えている。彼は文字は読めないが、ピエールとクララが兄弟喧嘩をやめないのは、母の死に苦しんでいるからだに敏感に察知している。ラムジは、自他の境界線上にいる「境界人」である。

中井久夫は、森鷗外を「自己抑制」の倫理を備えた軍医/文人、つまり「境界人」であるとみなしている。鷗外が「ヒュプリス」(=おごり)に抗い続けた治療者であったことを示す証左として、中井は彼の詩「沙羅の木」を挙げている。この詩は「鷗外の一生を集約するもの」として言及されているが、中井は、小さな「白き花」が「はたと落ち」ることにさえ気づく鷗外の敏感さに共感したのだろう³⁾。

中井自身も「民間治療はたえずヒュプリスへの誘惑あるいは誇大万能者への傾斜に曝されている」と言っている⁴⁾。彼が治療の一環として患者の「足を洗う」ことを推奨していたのも、治療者の傲慢さを克服するための「謙抑を端的に示す記号論的行為」でもあるからだろう⁴⁾。この映画では、ピエールの金持ちとしての、あるいはクララの教育者としてのヒュプリスが描かれるが、クララがラムジに字の読み方を教える時、彼女の謙抑が示される。斎藤が目指す中井の「心のうぶ毛」という言葉は、ラムジの他者の苦しみを感受する力を表現するのにふさわしい。ヒュプリスを克服することとは、まさに小さいものに注視する能力を育むことである。

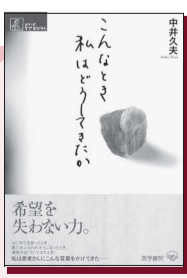
- 参考文献・URL
- 1) 倉沢美左. カズオ・イシグロ語る「感情優先社会」の危うさ——事実より「何を感じるか」が大事だとどうなるか. 2021. <https://toyokeizai.net/articles/-/414929>
 - 2) 斎藤環. 100分de名著 中井久夫スペシャル. NHK出版:2022. pp47-53.
 - 3) 中井久夫. 中井久夫コレクション「思春期を考える」ことについて. 筑摩書房;2011. p227.
 - 4) 中井久夫. 治療文化論——精神医学的再構築の試み. 岩波書店;2001. p196, 198.

「希望を失わない」とは、どういうことか。

<シリーズ ケアをひらく> こんなとき私はどうしてきたか

初めて患者さんと出会ったとき、暴力をふるわれそうになったとき、「回復に耐える力」がなさそうなとき、私はどんな言葉をかけ、どう振る舞ってきたか——。当りきった臨床家であり達意の文章家として知られる著者渾身の1冊。ここまで具体的に美しいアドバイスが、かつてあったらうか!

中井久夫



A5 頁240 2007年 定価:2,200円[本体2,000円+税10%] [ISBN978-4-260-00457-2]

医学書院